

◆第33回オリンピック競技大会(2024/パリ)

[選考方法]

※別紙参照 日本水泳連盟ホームページ内で公開

◆第10回ジュニアパンパシフィック選手権(オーストラリア・キャンベラ 8/21～8/24)

[選考方法]

- 1、選考競技会を国際大会代表選手選考会(TAC・3/17-24)とする
- 2、選考は、第10回ジュニアパンパシフィック選手権競技規則に基づいて日本水泳連盟選手選考委員会があたり編成方針(日本水泳連盟が決定する)に沿って総合的な判断により選考する
- 3、選考種目はオリンピック種目とする
- 4、参加有資格者は、2024年12月31日において13歳～18歳の選手(2006年～2011年)とする
- 5、大会規定に基づき、編成人数は最大40名(男子20名、女子20名)とし、過去に世界選手権・オリンピックの代表になった者以外から選考する
但し、世界選手権2024ドーハは対象外とする
- 6、本大会参加の意思は確認する。辞退を認める
※スケジュールの都合上、全国中学、インターハイ、全国JOC杯には出場できない
※派遣期間は8月15日(木)～8月26日(月)を予定
- 7、国際大会代表選手選考会(TAC・3/17-24)において、男女別に全ての競技結果(予選・準決勝・決勝・スイムオフ)で選考をする

[選考優先順位]

- 1、各種目の最上位1名を選考する
(選考優先競技は決勝、準決勝、予選の順とし、スイムオフは除く)
- 2、予選、準決勝、決勝、スイムオフの全競技結果を対象とし、インターB達成率の上位から最大40名(男子20名、女子20名)を選考をする
但し、種目毎の最大人数は3名までとする
※重複による補填は行わない